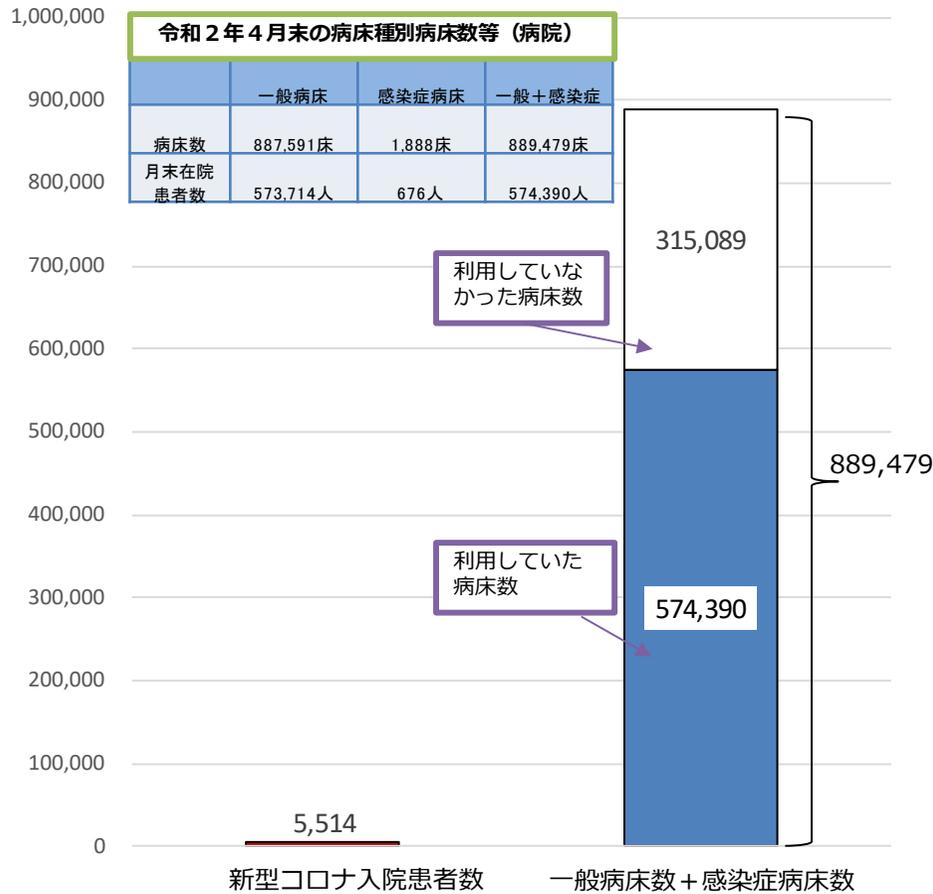


# 全国の一般病床等の病床利用状況と新型コロナ入院患者数及び一日平均在院患者数

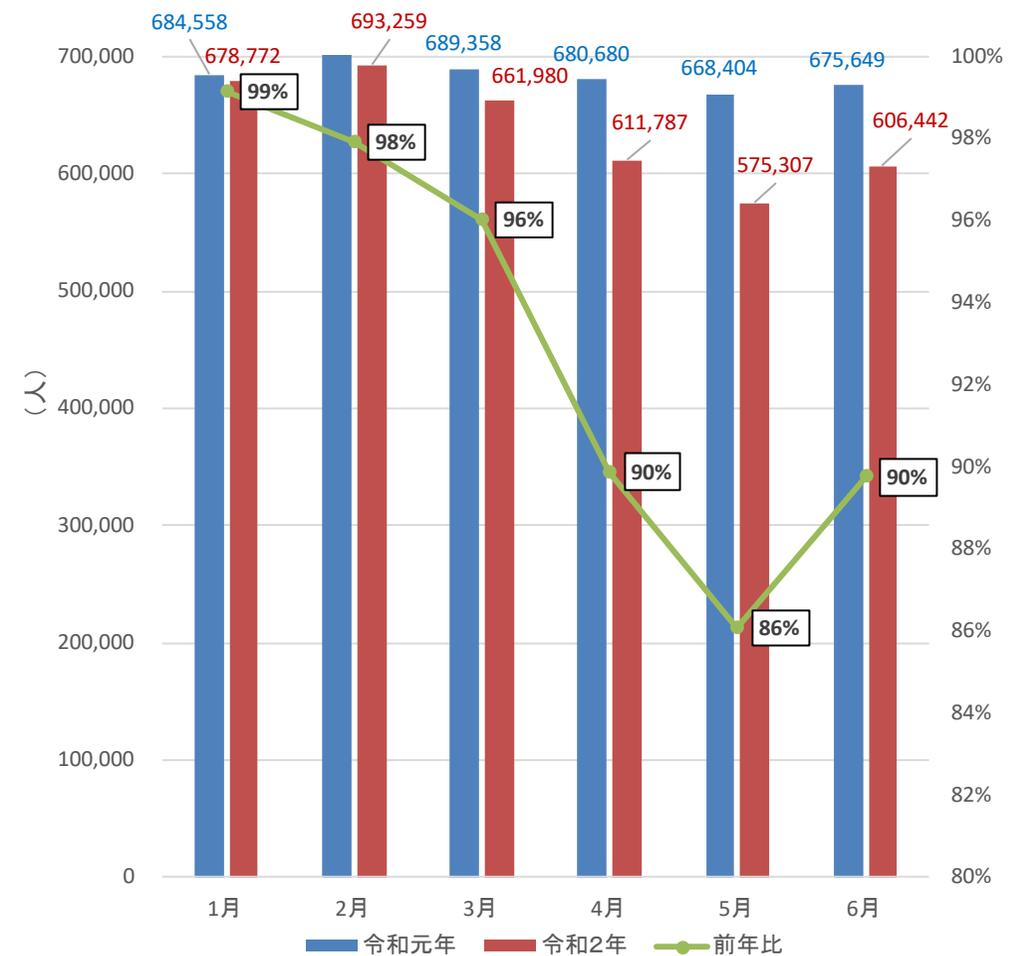
第27回地域医療構想に関するワーキンググループ  
(令和2年10月21日) 資料(一部改変)

- **令和2年4月末時点で入院していた新型コロナ患者数は5,514人であった。**
- **一般病床における全国の1日平均在院患者数は、前年同時期に比べて減少傾向。5月は前年比86%。**

令和2年4月末の病床利用状況  
(一般病床+感染症病床)



1日あたり平均在院患者数(一般病床)



※病床数、月末在院患者数・・・病院報告(月報)令和2年4月  
 ※「新型コロナウイルス感染症患者」について、このページ以降「新型コロナ患者」とする。  
 ※新型コロナ入院患者数・・・新型コロナウイルス感染症患者の療養状況に関する調査結果(4月28日報告)より  
 ※最終フェーズにおいて、都道府県が即応病床として確保することを計画する病床数・・・「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査結果(10月7日0時時点)」より引用。  
 ※1日あたり平均在院患者数・病院数・・・病院報告(月報)令和2年1月~6月と、令和元年1月~6月より引用

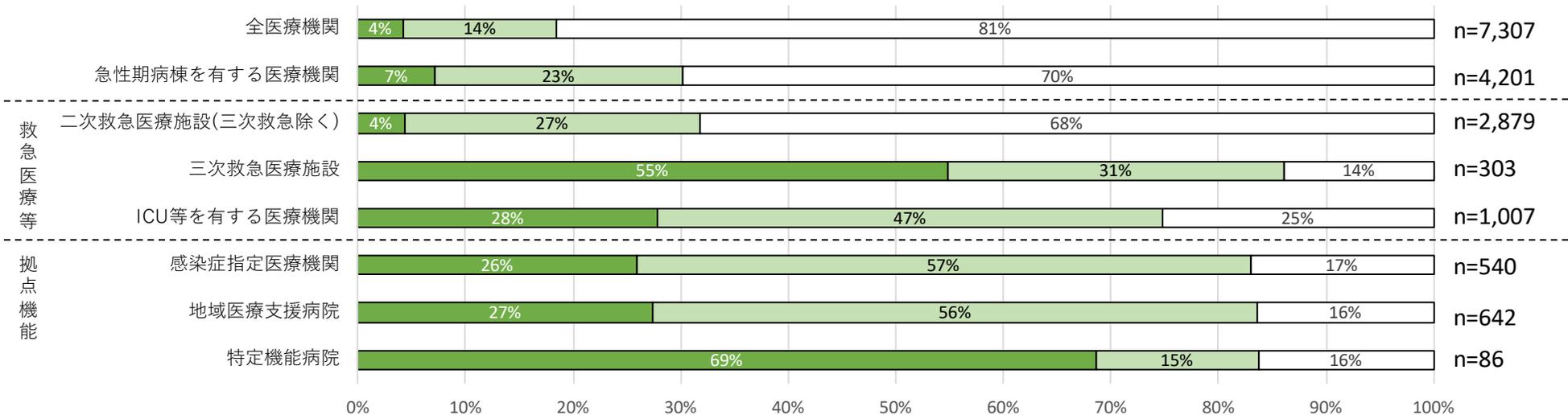
# 医療機関の機能別の新型コロナ患者受入実績の有無について

第27回地域医療構想に関するワーキンググループ  
(令和2年10月21日) 資料(一部改変)

○ **三次救急医療施設のうち86%、ICU等を有する医療機関のうち75%、感染症指定医療機関のうち83%、地域医療支援病院のうち84%、特定機能病院のうち84%が、受入実績あり医療機関であった。**

対象医療機関：  
G-MISで報告のあった全医療機関(7,307医療機関)  
うち急性期病棟を有する医療機関(4,201医療機関、報告率92%)  
三次救急医療施設(303医療機関、報告率98%)  
二次救急医療施設(2,879医療機関、報告率93%)  
ICU等を有する医療機関(1,007医療機関、報告率96%)  
感染症指定医療機関(540医療機関、報告率97%)  
地域医療支援病院(642医療機関、報告率97%)  
特定機能病院(86医療機関、報告率100%)

病院の機能別の新型コロナ患者の受入実績の有無の割合



■ 新型コロナ患者で人工呼吸器またはECMOを使用した患者の受入医療機関  
 □ 左記以外の新型コロナ患者の受入医療機関  
 □ 受入実績なし

- ※ 急性期病棟の有無は平成30年度病床機能報告において高度急性期・急性期の機能を有すると報告した医療機関。
- ※ 三次救急医療施設は「重篤な救急患者の医療を確保することを目的として、都道府県知事が医療法に規定する医療計画等にもとづき救命救急センターとして指定した医療機関」(平成30年度病床機能報告)
- ※ 二次救急医療施設は三次救急医療施設でないものであって、「救急隊により搬送される傷病者に関する医療を担当する医療機関として、都道府県知事が医療法に規定する医療計画の内容等を勘案して必要と認定したもの。また、三次救急医療施設であって、都道府県の医療計画上、二次救急医療施設相当の病院群輪番制病院の指定を受けている場合も含む。」(平成30年度病床機能報告)
- ※ ICU等は平成30年度病床機能報告で特定集中治療室管理料の実績・救命救急入院料1、救命救急入院料2、救命救急入院料3、救命救急入院料4、特定集中治療室管理料1、特定集中治療室管理料2、特定集中治療室管理料3、特定集中治療室管理料4、総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)、総合周産期特定集中治療室管理料(新生児)、新生児特定集中治療室管理料1、新生児特定集中治療室管理料2、小児特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料1、ハイケアユニット入院医療管理料2、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、新生児治療回復室入院医療管理料を算定した実績がある医療機関
- ※ 感染症指定医療機関・・・特定・第一種・第二種感染症指定医療機関、平成31年4月1日時点で551医療機関
- ※ 地域医療支援病院・・・令和2年6月1日時点で649医療機関
- ※ 特定機能病院・・・令和2年4月1日時点で86医療機関